

平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年1月31日

上場会社名 株式会社 メガチップス 上場取引所 東
 コード番号 6875 URL http://www.megachips.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高田 明
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理統括部長 (氏名) 藤井 理之 TEL (06)6399-2884
 四半期報告書提出予定日 平成24年2月10日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績 (平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	29,248	15.6	3,107	33.7	3,370	30.4	2,212	13.7
23年3月期第3四半期	25,298	△21.3	2,324	△21.6	2,584	△15.1	1,944	△7.1

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 155百万円(△89.3%) 23年3月期第3四半期 1,446百万円(-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	92.31	—
23年3月期第3四半期	80.24	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第3四半期	31,840	24,844	78.0	1,037.18
23年3月期	29,203	25,453	87.2	1,060.19

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 24,844百万円 23年3月期 25,453百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	—	—	29.00	29.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、配当方針に基づき期末日を基準日として年1回の配当を実施しております。配当金額については、配当性向30%程度、または連結純資産配当率2%程度のいずれか高い方を基本として、連結業績、財政状況、投資計画等を考慮し決定しております。現在、具体的な配当予想額は未定のため、期末配当金及び年間配当金の予想を「—」と表記しております。

3. 平成24年3月期の連結業績予想 (平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	33,500	△7.6	2,600	△14.9	2,800	△15.7	2,000	△12.6	83.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注) 詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報(その他)に関する事項」をご覧ください。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	24年3月期3Q	24,038,400株	23年3月期	24,038,400株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	84,020株	23年3月期	30,020株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	23,963,609株	23年3月期3Q	24,237,290株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び本資料の発表日現在において合理的であると判断する一定の前提に基づいております。実際の業績等は今後の様々な要因によって予想と大きく異なる可能性があります。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算説明資料については、四半期決算短信開示後速やかに当社ホームページに掲載いたします。

【添付資料】

添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	P. 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	P. 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	P. 2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	P. 3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	P. 3
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 3
3. 四半期連結財務諸表	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	P. 6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 7
(4) 継続企業の前提に関する注記	P. 8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 8

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におきましては、東日本大震災の影響による国内景気の停滞から、徐々に持ち直しに転じてまいりましたが、海外景気の減速懸念、円高の進行及びデフレの影響など、景気の下振れリスクの存在により、先行きの不透明感が高まっております。

当社グループが属する電子機器業界におきましては、半導体などの電子部品や民生用電子機器の需要が低下し、電子機器業界全体の市場は前年比減という状況で推移いたしました。

このような厳しい環境の中、当社グループでは、画像や音声・音楽の圧縮伸張処理技術や通信等の当社の独自技術をベースとして、LSIからシステム製品に至るまで独創性のある幅広いソリューションの提供を強みに、製品開発及び販売活動に注力し、事業の拡大に取り組んでまいりました。

特にデジタル機器市場においては、映像、音声、音楽等のメディアのデジタル化、半導体技術の進歩によるLSIの高性能化、有線・無線の高速通信網の整備、デジタル放送の多様化など社会環境の変化により、製品の高機能化、多様化が進展しており、当社グループの活躍の場が拡大しております。

このような変化に対し当社グループは、ゲーム、アミューズメント、デジタル一眼レフカメラ、セキュリティ・モニタリングなどの分野において、高性能の応用特化型メモリ、システムLSI、自社システムLSIを搭載した電子部品及びデジタル映像の伝送・記録を中心としたシステム機器など、多様な形態の製品開発及び販売活動を積極的に進めてまいりました。

また、当社グループの事業環境といたしましては、主力製品であるゲームソフトウェア格納用LSI（カスタムメモリ）に加え、セキュリティ・モニタリング用途のデジタル映像監視システムの需要が堅調に推移いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は292億4千8百万円（前年同四半期比15.6%増）、営業利益は31億7百万円（同33.7%増）、経常利益は33億7千万円（同30.4%増）、四半期純利益は22億1千2百万円（同13.7%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における総資産は318億4千万円（前連結会計年度比26億3千7百万円の増加）となりました。主要な項目を前連結会計年度と比較すると、受取手形及び売掛金が72億5千8百万円増加した一方で、現金及び預金が35億1千1百万円、投資有価証券が20億6千8百万円それぞれ減少しております。

負債合計は69億9千5百万円（同32億4千5百万円の増加）となりました。主要な項目を前連結会計年度と比較すると、支払手形及び買掛金が10億5千9百万円、短期借入金が20億円それぞれ増加しております。

純資産は248億4千4百万円（同6億8百万円の減少）となりました。この結果、自己資本比率は78.0%（同9.1ポイントの下降）となりました。

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、39億9千2百万円となり、前連結会計年度に比べ35億1千1百万円の減少（前年同四半期は17億2千6百万円の減少）となりました。当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、43億7千3百万円の資金の使用（前年同四半期は10億3千7百万円の資金の使用）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益が35億6千5百万円（前年同四半期比22.2%増）となり、仕入債務が10億6千7百万円の増加となった一方で、売上債権が72億5千8百万円の増加、法人税等の支払額が14億7千3百万円あったことによるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、2億2千万円の資金の使用（前年同四半期は4億6千4百万円の資金の獲得）となりました。これは主に、投資有価証券の売却による収入が3億6百万円あった一方で、長期前払費用の取得による支出が3億8千万円あったことによるものであります。この結果、営業活動によるキャッシュ・フローと投資活動によるキャッシュ・フローを合算したフリー・キャッシュ・フローは、45億9千3百万円の資金の使用（前年同四半期は5億7千2百万円の資金の使用）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、12億4千万円の資金の獲得（前年同四半期は10億7千9百万円の資金の使用）となりました。これは主に、短期借入金が20億円の増加となった一方で、配当金の支払額が6億9千2百万円あったことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年10月28日に公表いたしました平成24年3月期の業績予想から変更ありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,503,256	3,992,126
受取手形及び売掛金	15,159,821	22,417,979
商品及び製品	282,662	155,794
仕掛品	250,519	740,469
原材料及び貯蔵品	104,544	381,625
繰延税金資産	273,434	255,465
その他	172,545	376,264
貸倒引当金	△1,061	△1,569
流動資産合計	23,745,723	28,318,156
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備	215,065	227,437
減価償却累計額	△156,802	△179,145
建物附属設備(純額)	58,262	48,292
その他	382,975	401,452
減価償却累計額	△332,788	△350,256
その他(純額)	50,186	51,195
有形固定資産合計	108,449	99,488
無形固定資産		
その他	63,639	60,585
無形固定資産合計	63,639	60,585
投資その他の資産		
投資有価証券	4,187,223	2,118,855
長期前払費用	665,808	705,421
繰延税金資産	186,008	211,251
その他	249,082	329,461
貸倒引当金	△2,675	△2,675
投資その他の資産合計	5,285,446	3,362,314
固定資産合計	5,457,535	3,522,387
資産合計	29,203,259	31,840,543

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,987,687	3,047,114
短期借入金	—	2,000,000
未払法人税等	889,591	717,152
工事損失引当金	49,251	404,957
その他の引当金	282,817	229,086
その他	496,232	558,237
流動負債合計	3,705,579	6,956,546
固定負債		
その他	44,346	39,025
固定負債合計	44,346	39,025
負債合計	3,749,926	6,995,571
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,840,313	4,840,313
資本剰余金	6,181,300	6,181,300
利益剰余金	12,536,142	14,052,049
自己株式	△45,385	△112,777
株主資本合計	23,512,370	24,960,885
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,326,955	557,653
為替換算調整勘定	△385,993	△673,566
その他の包括利益累計額合計	1,940,962	△115,913
純資産合計	25,453,332	24,844,972
負債純資産合計	29,203,259	31,840,543

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	25,298,299	29,248,760
売上原価	20,435,368	23,502,759
売上総利益	4,862,931	5,746,000
販売費及び一般管理費	2,538,392	2,638,520
営業利益	2,324,539	3,107,480
営業外収益		
受取利息	2,184	3,761
受取配当金	267,157	243,480
法人税等還付加算金	6,277	—
未払配当金除斥益	3,530	10,137
雑収入	31,289	39,541
営業外収益合計	310,439	296,921
営業外費用		
支払利息	—	199
投資事業組合運用損	9,947	2,430
訴訟関連費用	—	30,000
為替差損	40,084	1,238
雑損失	367	479
営業外費用合計	50,398	34,349
経常利益	2,584,580	3,370,052
特別利益		
投資有価証券売却益	343,479	195,854
特別利益合計	343,479	195,854
特別損失		
固定資産除却損	7,738	142
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	1,217	—
特別損失合計	8,955	142
税金等調整前四半期純利益	2,919,104	3,565,764
法人税等	974,335	1,353,614
少数株主損益調整前四半期純利益	1,944,768	2,212,150
四半期純利益	1,944,768	2,212,150
少数株主損益調整前四半期純利益	1,944,768	2,212,150
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△341,752	△1,769,302
為替換算調整勘定	△156,546	△287,573
その他の包括利益合計	△498,298	△2,056,875
四半期包括利益	1,446,469	155,274
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,446,469	155,274
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,919,104	3,565,764
減価償却費	94,404	98,342
長期前払費用償却額	628,853	309,887
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△93,677	△136,234
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	61,425	82,503
工事損失引当金の増減額 (△は減少)	—	355,706
受取利息及び受取配当金	△269,342	△247,241
投資有価証券売却損益 (△は益)	△343,479	△195,854
売上債権の増減額 (△は増加)	△4,809,059	△7,258,158
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△222,031	△640,162
仕入債務の増減額 (△は減少)	698,066	1,067,383
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△141,034	△182,819
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	211,023	37,148
その他	143,174	△3,814
小計	△1,122,571	△3,147,550
利息及び配当金の受取額	269,342	247,404
法人税等の支払額	△418,309	△1,473,074
法人税等の還付額	234,462	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,037,075	△4,373,220
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	100,000	—
有形固定資産の取得による支出	△32,985	△9,840
無形固定資産の取得による支出	△57,070	△57,579
投資有価証券の取得による支出	△64,541	—
投資有価証券の売却による収入	564,002	306,305
長期前払費用の取得による支出	△88,486	△380,612
その他	43,399	△78,714
投資活動によるキャッシュ・フロー	464,318	△220,440
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	2,000,000
自己株式の取得による支出	△430,757	△67,392
配当金の支払額	△648,348	△692,024
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,079,105	1,240,583
現金及び現金同等物に係る換算差額	△74,641	△158,052
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,726,503	△3,511,129
現金及び現金同等物の期首残高	6,485,643	7,503,256
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,759,140	3,992,126

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

前第3四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日）

当社は、平成22年11月8日付の会社法第370条（取締役会の決議に替わる書面決議）による自己株式（当社普通株式）取得の決議により、平成22年11月9日に自己株式283,500株を取得いたしました。これにより、自己株式が430,636千円増加しております。

また、平成22年11月19日開催の取締役会における自己株式（当社普通株式）消却の決議により、平成22年11月30日付で自己株式315,500株を消却いたしました。これにより、自己株式及び利益剰余金がそれぞれ476,957千円減少しております。

当第3四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日）

当社は、平成23年5月17日付の会社法第370条（取締役会の決議に替わる書面決議）による自己株式（当社普通株式）取得の決議により、平成23年5月18日に自己株式54,000株を取得いたしました。これにより、自己株式が67,392千円増加しております。